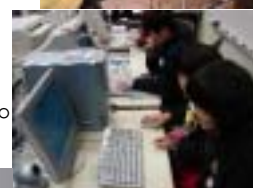


【様式2】

平成13年度授業実践結果

学校名：古川町立古川小学校

授業者等	授業日	平成14年1月30日	学年	3年生
	授業者	数崎敏彦 教諭	教科	社会科
	校種	小学校	単元	町の人々の暮らしの移り変わり
	ねらい	(1) 学校や地域に残る古い道具を実際に見たり使ったりしながら、昔の生活に関心を持つことができる。 (2) 道具は日々の生活の中で活用され、役立ってきたことや暮らしの変化とともに移り変わってきたことに気づくことができる。 (3) 遊びや服装などについても移り変わってきたことに気づくことができる。		
授業の流れ	1, 家にある昔の道具を探し、実際に手にとって見たり、使ったりしながら、昔の生活に関心も持つことができる。 2, 古い道具が使われていた頃の暮らしの様子をお年寄りや親に聞き、道具は暮らしの変化とともに移り変わってきたことに気づくことができる。 3, 地域にある郷土資料館を見学し、展示されている昔の道具について関心を持ってしらべる。 4, 遊びや服装などについても、それぞれの移り変わりの様子を図書館の資料や IT 機器を使って調べる。 (遊びの大図鑑 http://www.tsubamesanjo-jc.or.jp/kodomo/index.htm)			
	考察			
考察	1, 昔の道具を家から持ってきて、みんなに紹介をしてくれた。目の前にあるため、実際に手にとったりしながら、その大きさや重さを知ることができた。 2, あそびや服装等を調べるとき、資料となりえるものが図書館にたくさん準備されており、その資料で足りる児童は、図書館での利用となった。しかし、「昔の遊び」などあまり資料のない項目については、児童自身が PC 室や教室のパソコンを使って「YAHOO キッズ」に接続し、インターネット検索を行い、必要なサ			



	イトにアクセスした。以前に使い方を説明したことを覚えており、自由に使いこなせるようになってきた。
--	--